# \_\_

9/12(木) 検討委員会 第2回会議

資 料 2-1



# 学校再編に関するアンケート調査

## ~貴重なご意見のご協力をお願いします~

日頃より、本市教育行政に多大なるご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、本市では小学校8校・中学校4校で公立の義務教育を担っている状況です。市内全域で 人口減少が加速し、同時に少子化も進行する中、すべての小学校でクラス替えができない学年が生じて いるとともに、一部では複式学級が発生する状況となっています。

また、茨城県が定める学校の適正な規模は、学校全体で「小学校では12学級以上」、「中学校では9学級以上」となっております。この基準を基に、本市の将来の児童生徒数の予測から学校数を算出すると、令和12年から小中学校がおおむね2校ずつ、令和 17 年からおおむね1校ずつの規模【裏面参照】となることが予測されます。

本市では、これまでも、一部地区で生じてきた児童生徒数の減少に対応するため、学校の統廃合を実施し、教育環境の改善に努めてきました。

しかしながら、今後さらに進む児童生徒数の減少や学校の小規模化を見据え、全市的な視点から、将来にわたって持続可能な学校環境を整えていくことが重要であることから、将来を見据えた適正な学校規模と学校配置の方針となる「稲敷市立小中学校適正規模・適正配置計画」の策定を現在進めています。

つきましては、計画策定にあたり、未就学児と小・中学校の児童生徒の保護者を対象に、本市の教育環境の改善に向けたアンケート調査を実施させていただくこととしました。

なお、本調査は、計画策定の際の基礎資料として活用するために実施するものです。ご回答いただいた内容は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、今回の目的外の利用はいたしません。

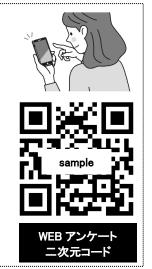
ご多用のところ、お手数をおかけいたしますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいま すよう、お願い申し上げます。

令和6年 月 稲敷市教育委員会

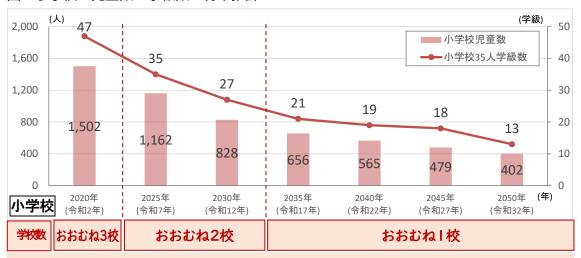
## ■アンケート調査の回答方法

- 1. 本アンケート調査は、インターネットによる回答をお願いしています。 ※紙の調査票での回答をご用命の方は、調査票を郵送致しますので、下記の お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。
- 2. 右の二次元コードまたは下記URLからアクセスしてください。 URL: https://www.city.inashiki.lg.jp/(仮)
- 3. アンケートのご回答は、 月 日 ( ) までにお願いします。
- ※ ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。 お問い合わせ先 稲敷市 教育委員会 教育政策課

電話:0298-92-2000(代表)(内線 2410)



### 図:小学校の児童数と学級数の将来推計



|学年2学級以上(|校|2学級以上)で算出した市全体での学校数

※1学年2学級以上では、全学年でクラス替えができ、学級を超えた集団編成が可能、同学年に複数職員の配置ができるなどのメリットがある。

### 図:中学校の生徒数と学級数の将来推計



#### I学年3学級以上(I校9学級以上)で算出した市全体での学校数

※1学年3学級以上では、全学年でクラス替えができ、学級を超えた集団編成が可能、同学年に 複数職員の配置ができ、すべての授業で教科担任による学習指導ができるメリットなどがある。

資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

※1:2020年は国勢調査による実績値となっている。

※2: 社人研5歳階級別人口データを国勢調査 (R2) の1歳階級別 (男女) の人口比率で按分して算出した人口 (1歳ごと) で児童 (6-11) と生徒 (12-14) を出している。